

夷隅地域における広域移住体験ツアー

【2日目】 2月9日(日)

8:30～ 勝浦ヒルトップホテル出発(勝浦市)

- ・参加者は、8時20分までにロビーに集合し、バスに乗車。
- ・8時30分に、受託者別動隊とともに、勝浦ヒルトップホテルを出発。

9:00～10:25 朝食(大原漁港 港の朝市)(いすみ市)



- ・バスは予定どおりの9時に到着。
- ・朝市では、個人負担により思い思いの朝食を取ることとしており、当初の出発予定時間は9時45分でありましたが、予想以上の込み具合であったため、出発時間を10時に変更。
- ・全員が時間前にはバスに戻ってきましたが、次の訪問場所である「うたうファーム」は、徒歩での移動でそこそこ時間がかかること、トイレが少ないため予めトイレを済ますようアナウンスしたことにより、予定より25分遅れの10時25分に出発。
- ・感染防止等の観点から農場立ち入りチェックが必要であり、その回答URLとともに到着までに回答を済ましておくようアナウンスするとともに、昨日の夕食で余った「うたうファーム」のジェラートを参加者全員に配付。

11:20~12:15 うたうファーム 高橋裕美さん【移住と挑戦】(いすみ市)



- ・バスを駐車しておく川目第一集会所に予定より約40分遅れの10時57分に到着。
- ・徒歩にて移動し、うたうファームには11時20分に到着。搾乳所にいた2頭の牛と触れ合い、その後、間伐により開けた所で焚火を囲むように配置された丸太やベンチに腰掛け、高橋裕美氏から「移住と挑戦」をテーマに、対談形式による講演を行いました。
- ・高橋裕美氏からは、ジャージー牛乳のジェラート屋を開きたいと想い、いすみ市への移住を選択した。現在、当初より1ha増えて4.5haの土地で牛を放し飼いしている。ジェラートの加工設備に2,500万円程必要で、クラウドファンディングで800万円程を調達したことなどを説明。参加者からは、いすみ市の起業支援制度の内容、ジェラートを生業とした理由、広大な土地の確保方法、今後の展望などについて積極的な質問がありました。
- ・時間が押していたため、事前打ち合わせの際に高橋裕美氏より提案のあった「焚火での焼きマシュマロ」の提供は見送りました。
- ・若干の風があったため焚火の煙がなびき、立つて避ける場面もありましたが、終始和やかな雰囲気ですべて12時15分に終了。その後、行きと同様の手段によりバスまで移動し、川目第一集会所に12時40分に到着。直ちに昼食場所の御宿町の御宿町の大野荘に向け出発。

13:10～13:35 昼食(大野荘)(御宿町)



- ・ 13 時 10 分に昼食場所の御宿町の大野荘に到着。当初は、同じ御宿町の農家レストラン愚為庵で、12 時 30 分からの昼食を予定していましたが、諸事情により、大野荘の「伊勢えび釜めし膳」に変更。
- ・ 御宿町では、2 月 22 日(土)～3 月 3 日(月)に「まちかどつるし雛めぐり」が予定されていることもあり、館内につるし雛が飾られており、参加者も興味深く眺めていました。

13:35～14:10 宮寄勢太郎さん【自然と仕事】(大野荘)(御宿町)



- ・ 昼食場所の変更のほか、訪問先での滞在時間が押したため遅めの昼食となりましたが、宮寄勢太郎氏の講話は食事をしながらとし、ほぼ予定どおりの 13 時 35 分から始めること、また、宮寄勢太郎氏からの提案により、講話終了後に御宿の海岸線を散策することをアナウンス。

- ・昼食を食べ終えていない参加者も若干名いましたが、ほぼ予定どおりの 13 時 35 分から、オンジユクジビエラボラトリー代表の宮寄勢太郎氏により「自然と仕事」をテーマに、対談形式による講演を行いました。
- ・宮寄勢太郎氏からは、御宿町の地域おこし協力隊として移住。ミッションは有害鳥獣対策で応募時は、銃免許はおろか、わな免許も持っていなかったが、元々、山で遊ぶのが好きで、御宿町の担当者、先輩隊員の対応が良かったため、移住先として決めた。狩猟のメインはキョンで、午前中に仕掛けたわなの確認、午後にかかった獲物の解体といったサイクルとなっていると説明があったほか、来る 3 月 9 日に開催を予定している狩猟体験ツアーの案内がありました。
- ・参加者からは、肉や皮の卸し先、ライフル銃でない理由などについて質疑応答があり、14 時 10 分に終了。

14:20～14:45 宮寄勢太郎さんの案内による御宿海岸散策(御宿町)



- ・10 分程度の休憩を挟み、14 時 20 分から宮寄勢太郎氏が先導・随所で説明等を加えながら、大野荘から月の砂漠通りを經由し、月の沙漠記念館を横目に遊月橋を渡り、月の沙漠記念像の近くまで散策。参加者は御宿海岸周辺の景色を楽しみながら歩いていました。
- ・大野荘まで戻り、宮寄勢太郎氏もバスに同乗、14 時 45 分に御宿西武グリーンタウンに向け出発。

14:55～15:10 宮寄勢太郎さんの案内による御宿西武グリーンタウン見学(御宿町)



- ・14時55分に、御宿西武グリーンタウンに到着。自身の住宅が当地にあり、その町内会の役員も努めている宮寄勢太郎氏の指示に従い、タウン内に立地しているおんじゅく認定こども園、ラビドールクリニックなどといった主要施設を中心にバスで周遊しました。参加者も車窓から興味深そうに眺めていました。
- ・この御宿西武グリーンタウンは御宿駅から約1.4km、御宿海岸まで約1.3kmの高台に1,500区画が整備されており、宮寄勢太郎氏によると約600世帯・約1,500人が生活しており、東日本大震災の津波被害等を踏まえ、町内から移転してくる人もいるなどといった説明があり、実際、何棟かが建築工事中でありました。
- ・参加者からは、宮寄勢太郎氏の家族構成、子供たちの状況、土地の購入及び建築費用などについて質問がありました。
- ・見学終了後、一旦大野荘に戻り、アンケート調査票及び関連備品等を受託者に手渡した後、バスは15時10分に帰路につく。県職員はここで撤収。

15:10～18:00 アンケート調査、お土産の配付(バス車内)

- ・参加者に、決裁板にアンケート調査票を挟み、鉛筆とともに配付し回答を依頼、参加者13名全員から回答をいただきました。
- ・アンケート調査票の回収に併せて、お土産として、大多喜町の御菓子司津知家の大多喜十萬石最中を1人当たり2個程度を配付しました。

18:00 千葉駅東口・京葉銀行前 解散(千葉市)

- ・より夷隅地域の様子を知ってもらうため、極力、往路と別ルートを選択することとし、県道夷隅御宿線～国道465号～国道297号～首都圏中央連絡自動車道～千葉東金道路を經由し、千葉京葉銀行本店前に18時頃に到着・解散。